

虐待が発生した場合の対応マニュアル②

(沖縄県様式・準拠／完全分離型)

就労継続支援 B 型事業所

New Revival Academy

1. 本マニュアルの位置づけ

本マニュアルは、
「虐待防止マニュアル(沖縄県様式準拠)」とは完全に分離し、
万が一、障害者虐待が発生、またはその疑いが生じた場合の
具体的かつ実務的な対応手順を定めるものである。

2. 基本方針

1. 利用者の生命・身体の安全を最優先とする
 2. 職員・事業所による隠蔽、自己判断を行わない
 3. 沖縄県および市町村と連携し、速やかに対応する
-

3. 対象となる虐待の範囲

以下のいずれかに該当する場合、本マニュアルを適用する。

- 明確な障害者虐待が確認された場合
- 障害者虐待の疑いが生じた場合
- 家族・第三者から虐待に関する相談・通報があった場合

※「様子を見る」「内部対応のみ」は行わない

4. 初動対応フロー

【Step1】発見・相談受付

- ・ 発見職員は速やかに管理者へ報告する
 - ・ 口頭報告後、記録様式①を作成する
-

【Step2】利用者の安全確保

- ・ 作業中断、配置変更、職員交代等を実施
 - ・ 必要に応じて医療機関受診
-

【Step3】事実確認

- ・ 複数名で客観的に実施
 - ・ 推測・意見は記載せず事実のみを確認
-

【Step4】通報

- ・ 管理者が市町村障害福祉主管課へ通報
 - ・ 緊急性が高い場合は即時通報
-

5. 通報先

- ・ 市町村障害福祉主管課(※別紙一覧)
 - ・ 沖縄県障害者虐待防止センター(必要時)
-

6. 通報後の対応

- ・ 市町村等の指示に従い対応を継続
- ・ 利用者および家族への説明

- 関係職員への聞き取り
-

7. 再発防止および委員会対応

- 虐待防止委員会で事案を検証
 - 原因分析および再発防止策の策定
 - 必要に応じてマニュアル・研修内容を見直す
-

8. 記録の作成・保管

- すべての対応は記録様式に基づき作成する
 - 記録は 5 年間保管する
 - 個人情報保護を徹底する
-

9. 附則

本マニュアルは、令和 6 年 4 月 1 日より施行する。

【別紙】沖縄県様式 準拠 記録様式

(空欄様式 + 記入例)

New Revival Academy

記録様式①

虐待発生(疑い)記録

【空欄様式】

- 発見日時:
- 発見者:
- 利用者名:
- 作業内容・場所:
- 具体的状況(事実のみ):
- 虐待種別:
- 緊急性の有無:

記録様式②

初動対応・通報記録

【空欄様式】

- 管理者確認日時:
- 判断内容:
- 安全確保措置:
- 通報先・日時・担当者:

記録様式③

経過観察・再発防止記録

【空欄様式】

- 経過観察内容:
- 利用者の状態:
- 再発防止策:
- 委員会報告日:
